



裏磐梯だより

No. 101

2020年3月



小野川湖は1888年の磐梯山の噴火によって起きた岩なだれが、小野川や長瀬川を堰き止めて出来た湖です。崩れた膨大な土砂はふもとへと流れ下り、多数の流れ山（岩屑や地層の塊で出来た小山）を作りました。やがて水が満ちた小野川湖では、その流れ山が湖上に点在する島となり、現在の風光明媚な風景を作り出しています。また、小野川湖の東側に流れ込む小野川の上流には、環境省が名水百選に選定した小野川湧水（百貫清水）や、落差約25mの小野川不動滝があり、湖の周辺は人気の観光スポットになっています。

その小野川不動滝上流の吾妻山麓では、大正末期から昭和中期にかけて、国営の森林開発事業が行われました。事業内容はブナなどの天然樹木を切り出し、薪や木炭、鉄道枕木などに加工した製品をトロッコに乗せて出荷するものでした。廃業の後に、トロッコ軌道敷跡の一部はトレッキングコースとして整備され、現在は小野川不動滝探勝路や小野川湖畔探勝路として利用されています。

裏磐梯の地形や文化の歴史に想いを馳せながら、豊かな自然とふれあえる小野川湖エリアに足を運んでみませんか？